

さいたま市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第1回）の意見と対応について

資料 1

項番	項目	意見	対応方針（案）
1	1. 目指すべき将来の方向	人口の維持はじめ、方向性については異議ありませんが、「将来にわたって活力ある都市の実現」という目指すべき将来の姿をもう少し具体的な表現を含められないかと感じました。おそらく、「活力ある都市」には元気なひとや元気な企業も含めれているのかと思います。一括りとせずにもう少し市民の皆さんに伝わりやすい表現もよいのかと。	御意見を踏まえて、記載を検討いたします。
2	1. 目指すべき将来の方向	推計人口データを根拠に「本市全体の人口を維持すること」という方向性をめざすことを総論として記す箇所だと思いますので異議ありません。無難な表現を敢えて行う箇所だとは判断します。	—
3	1. 目指すべき将来の方向	抽象的な記載となっており、一般市民からは分かりづらいため、表現の工夫が必要ではないか。	「目指すべき将来の方向」では抽象的に記載し、後述の「地方創生に関する本市の考え方」で具体的に記載する構成としております。
4	2. 地方創生に関する本市の考え方	さいたま市で生まれ育った人に定住化してもらうことが、総人口と適正な人口構造の維持につながる。また、このことは三世代同居の推進にもつながり、核家族化の進展を食い止め、少子化対策にもなる。	地方創生に関する本市の考え方の「住みやすさ」の向上による人口維持において、定住化を促進するために本市に誇りと愛着を持ってもらえる施策を推進していくことも重要だと認識しています。 それぞれのライフスタイルから核家族化を防ぐことは難しいため、祖父母世代による地域の子育て活動の促進などに取り組んでいきます。
5	2. 地方創生に関する本市の考え方	治安がよく、災害に強い、バリアフリー化が進んでいるなど、人に優しいまちということが大事だと考える。	御意見の観点は、総合戦略全体にかかると考えますので、計画策定全体の参考とさせていただきます。
6	2. 地方創生に関する本市の考え方	地域の特性によって、人口を増加させる施策にも違いがあると考えらる。	総合振興計画における将来都市構造の基本的な考え方や、各区の特性と将来像に沿って、地域の特性に応じてまちづくりを進めていきます。

項番	項目	意見	対応方針（案）
7	2. 地方創生に関する本市の考え方	資料に記載のある「多くの人が住みやすい、住み続けたいと感じることができる」が大事だと考える。	御意見の観点は、総合戦略全体にかかると考えますので、計画策定全体の参考とさせていただきます。
8	2. 地方創生に関する本市の考え方	資料3の11ページに「東日本の交通結節点」という特質を打ち出しておられるので、「1. 目指すべき将来の方向」で記した箇所が総論的、抽象的な表現でもよろしいと思いました。「東日本の・・・」はさいたま市の最大の魅力であるので、その地域で(2)①の「子育て教育、災害に強い住みやすさ」が備わるとい生活しやすさという魅力を強調していることがわかりやすいです。	—
9	2. 地方創生に関する本市の考え方	基本的な方向性については異議ありませんが、①「住みやすさ」向上による人口維持：どうしても若年者中心の表現になりがちですが、超高齢社会を踏まえ、弱者（子供・高齢者等）として捉え、住みやすさももちろんですが、「人にやさしいまち」の向上とすることで、どのように住みやすいのかにより表現できるのではないかと。	御意見の観点については、地方創生に関する本市の考え方を踏まえた重点戦略の各戦術で取り入れております。
10	2. 地方創生に関する本市の考え方	②地域経済の活性化に関しては、生産年齢人口が対象となる地域産業の活性化のように読み取りました。が、「生産年齢」だけを考えずに、「生産活性化可能性人口」（高齢者、障がい者、女性をひとくくりに書いている表現はあまり適切とは思わず、造語します）への生産力の増大や広がりにつながる「再教育」「リスタート教育」の機会を市として積極的に採り入れて、本人の「健幸」を引き出すというような、前向きな考え方があればと期待します。	御意見の取組については、地方創生に関する本市の考え方を踏まえた重点戦略2戦術1において、「生涯現役」社会の実現に取り組んでいきます。
11	2. 地方創生に関する本市の考え方	基本的な方向性については異議ありませんが、②魅力を生かした地域経済の活性化：超高齢社会における生産年齢人口減少に向けて、リタイアしたOBができるだけ働き続けられる環境づくり「生涯現役社会」が必要と思えます。これは健康寿命の延伸にも繋がり、QOL向上により「住みやすさ」の向上にも関連してくると思えます。 また、資料に記載もありますが、地方創生に向け、「東日本連携センター」が代表的な取組ですが、今後は広域連携する上で関係人口の創出による活動も必要であると考えます。	御意見の取組については、地方創生に関する本市の考え方を踏まえた重点戦略2戦術1において、「生涯現役」社会の実現に取り組んでいきます。
12	2. 地方創生に関する本市の考え方	「②魅力を生かした地域経済の活性化」については、従業者だけでなく雇用者に向けた内容も含まれるため、そのことがわかるようにすべき。	総合戦略は市民だけではなく、事業者向けでもあることを前提としております。

項番	項目	意見	対応方針（案）
13	2. 地方創生に関する本市の考え方	<p>基本的な方向性については異議ありませんが、③新しい時代の流れへの対応：特に、医療・介護については、高齢者を中心にすべての世代に共通する分野であり、AI・IoT技術等の先端技術を活用した取組みにより、「人にやさしいまち」へと繋がります。</p>	御意見を踏まえて、記載を検討いたします。
14	3. 追加的な取組	<p>女性の進学率の向上等を背景に、女性の初婚年齢や生涯未婚率が上昇し、少子化が進行している。結婚適齢期からではなく、若い年代を対象に男女の交流をする場を提供してはどうか。従来にはない取組をしないと、出生率の向上は難しいと考える。</p>	<p>男女の交流の場は、民間企業により多種多様な形態で展開されているため、行政ならではの取組として実施していく必要があります。</p>
15	3. 追加的な取組	<p>大学や大企業を誘致することで、訪れる人が増え、まちのにぎわいが創出される。</p>	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
16	3. 追加的な取組	<p>昨年の台風19号の際に、車中泊をしている人が多く、路上に駐車したまま車が放置されるなど、災害時の避難所は、学校だけでは足りないと考える。より安心して暮らせるまちにするため、避難所の拡充を図ったらどうか。</p>	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
17	3. 追加的な取組 重点戦略1戦術2	<p>健康寿命の延伸によりいわゆる「健幸」を実感できるものと思います。「歩く」ということはもちろん欠かすことのできないテーマだと思えますが、少なからず人の役にたっているということが、生きがいや、さらなる心の豊かさを生み出すと思えます。そのためには、やはり仕事を続けることが一番であり、ボランティア活動も含め可能な限りの働く場・活動の場が重要と思えます。</p> <p>また、KPIですが、健康寿命が延伸すると自然に医療費の削減に繋がります。将来的には、こうした指標も必要かと思えます。</p>	<p>重点戦略2戦術1において、「生涯現役社会」の実現に取り組んでいきます。また、KPIについては、今後の参考とさせていただきます。</p>
18	3. 追加的な取組 重点戦略1戦術3	<p>スポーツは、さいたま市の特徴であり、引き続き伸ばしていくべき。</p>	<p>御意見のとおり、重点戦略1戦術3において、本市の豊富なスポーツ資源を生かした取組について記載しております。</p>

項番	項目	意見	対応方針（案）
19	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術3	重点戦略1 戦術3において、野球チームを誘致できれば、まちの活性化につながると考える。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
20	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術4	重点戦略1 戦術4において、デジタル授業を導入し、子供の能力に応じた教育を実施していくとよい。	御意見を踏まえて、重点戦略1 戦術4の記載を検討いたします。
21	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術4	次代を担う社会の担い手の育成に向け、できるだけ若年者からの職業教育の実践が必要と思います。小学生低学年からの会社社長の職業感の説明会や職場体験、インターンシップなど、これまで以上にきめ細かいメニューが必要と思います。これは、グローバル人材の育成にも同様のことが言えます。	重点戦略1 戦術4において、職業教育の実践に取り組んでく考えですが、御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
22	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	地下鉄7号線を延伸することで、新駅の周辺で新たなまちづくりが始まり、市街化調整区域が市街化区域に編入され、人口減少対策となるのではないかと。	重点戦略1 戦術5において、広域的な鉄道網の強化を図っていきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
23	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	各戦術において、実効性があるかどうかを重要と考える。例えば、「見沼たんぼ」に魅力を感じても、実際に足を運ぶかどうか。トイレ設置などのインフラ整備が必要と考える。また、これに関連する「日本一の桜回廊」も、単独ではなく、他と連携し生かすことができれば、市の魅力をパワーアップできるのではないかと。	重点戦略1 戦術5において、観光の振興に取り組んでいきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
24	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	鉄道博物館、盆栽、漫画博物館、人形博物館はインバウンド等も意識するとよい資源であり、有機的に結び、川越などとも連携していくとよいのでは。	重点戦略1 戦術5において、観光の振興に取り組んでいきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
25	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	防災の視点でいくと、地勢的にも災害に強いと考えられる。	重点戦略1 戦術5において、地勢的に災害に強いことを生かして広域防災拠点機能の強化を図っていきます。

項番	項目	意見	対応方針（案）
26	3. 追加的な取組 重点戦略1戦術5	P19「目指す方向性」記載のTEC-FORCEの進出拠点の位置づけの出典元をご教示願います。 （首都直下地震におけるTEC-FORCE活動計画等には「さいたま新都心」付近が位置づけがなかったため）	首都圏広域地方計画（P.85）を出典としておりますが、誤解のない表現に記載を検討いたします。
27	3. 追加的な取組 重点戦略1戦術5	強い産業力の創出では、既存企業の持続的な発展への支援も必要かと思えます。	御意見の取組については、重点戦略2戦術2において取り組んでいきます。
28	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術1	人口を定着化させる方向性について、高齢化を避けられないとすれば、どのような高齢化社会を市として目指すかを記す積極性があってもよろしいのではないのでしょうか。高齢者の労働をより積極的に評価し、生きがいのための受動的、消費的学習にとどまらず、社会につながり、経済を支える高齢者像、障がい者像が見えることが大事だと、福祉の立場からは考えます。	御意見を踏まえて、記載を検討いたします。
29	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術1	待機児童の課題等もあるが、人口を維持していくためには、やはり出生率を向上させることが大切であり、若い世代が住みやすいまち、子育てしながら働いていけるまちづくりを進めることが重要な観点である。	重点戦略2戦術1や戦術2において、子育てしながら働くことができるまちづくりを進めていきます。
30	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術1	介護人材の担い手不足については、地域の元気な65歳～70歳の高齢者を活用してはどうか。	重点戦略2戦術1において、元気な65歳以上の高齢者の雇用環境を整備していきます。
31	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術1	元気な65歳以上の高齢者のための雇用環境を整備してはどうか。	重点戦略2戦術1において、元気な65歳以上の高齢者の雇用環境を整備していきます。
32	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術1	重点戦略2の戦術1は子育てから高齢化への対応まで、他の戦術と比較し、幅広い内容となっている印象。	本格的な人口減少・超高齢時代の到来への対応としておりますが、重点戦略2戦術1における目指す方向性や重点ポイントは、子育て支援、高齢者支援を主としており、他の戦術とは重複しない限定的な記載としております。

項番	項目	意見	対応方針（案）
33	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術1	「・・あらゆる世代が、輝き・住み続けたいまちづくり」とすることで、人口減少の課題の解決としての表現として、よりマッチするよう感じます。	「住み続けたいまちづくり」は、総合戦略全体にかかる考えとなっております。
34	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	労働力人口の増加を目指して、福祉と雇用の支援の連携を強化し、就職氷河期世代の雇用対策、8050問題への対応に取組んでいくべきではないか。	重点戦略2戦術2において、多様なニーズに応じた就労支援により、労働力人口の増加を目指していきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
35	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	技術力はAI等に代替されないため、情報化社会が進展すると、中小企業は技術力が重要となる。その上で、中小企業の人材を確保する施策として教育と連携し、地域の小学生に地域の工業高校を見学させるなどして、小学生にもものづくりの魅力を伝え、地域の中小企業の人材を確保としてはどうか。	重点戦略2戦術2において、多様な地域人材の確保・育成にむけた支援を推進していきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
36	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	女性の活躍に関する記載が充実しているとよい。そのためには生涯働ける教育や支援の充実が必要なのではないか。	重点戦略2戦術2において、女性のニーズに応じた就労支援の充実に取り組むとともに、重点戦略2戦術5において、人権教育の推進を図っていきます。
37	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	定年退職年齢の選択制を取り入れている企業も出てきたが、高齢者も働きやすい環境づくりが大切。	重点戦略2戦術2において、高齢者のニーズに応じた就労支援の充実に取り組んでいきます。
38	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	新型コロナウイルス感染症の状況もありテレワークなど働き方が多様化している中、行政として、例えば公共施設をテレワークの拠点にする方法などがあるか。金融機関としては市内の中小企業への啓発やサポートなどができるか。	御指摘の点については、重点戦略2戦術2において、誰もが働きやすい就労環境の整備を進めていく考えですが、具体的な事業手法については今後検討していきます。
39	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえると、例えばさいたま市にテレワークの拠点を作り、都心のテレワークの拠点とちがうメリットなどを売りにしていく方法があるか。	御指摘の点については、重点戦略2戦術2において、誰もが働きやすい就労環境の整備を進めていく考えですが、具体的な事業手法については今後検討していきます。

項番	項目	意見	対応方針（案）
40	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術3	BCP対策として、これまで想定されていなかった感染症対策も明記しておく必要があると思います。また、防犯活動については、市民をはじめ事業者を含めた地域一体の取組みが不可欠かと思ひます。	感染症対策については、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により計画の改定などを適宜行っていきます。また、重点戦略2戦術3において、地域一体となって防犯活動に取り組んでいきます。
41	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術4	公共交通において、東京方面だけではなく市内間の移動が便利になると、人口減少対策につながるのではないかと。	重点戦略2戦術4において、環境に配慮した移動を促進することで、市内間移動の利便性向上に取り組んでいきます。
42	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術5	住みたいまちランキングで大宮、浦和が上位に入っており、大変喜ばしい。さらなるバランスの取れたまちづくりに向けて、地域コミュニティづくりや人間関係づくりに力を入れてほしい。	重点戦略2戦術5において、多世代の交流や自主的活動の促進を図っていきます。
43	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術5	一般に、駅周辺には集合住宅が建ちやすい。だが、居住者は自治会未加入の傾向にある。民生委員の選出ができないことから、災害時や居住者高齢化の際の不安がある。よって、タワーマンションには自治会を作らせるなど、自治会加入促進を図ってほしい。	タワーマンションに限ったことではありませんが、重点戦略2戦術5において、多世代の交流や自主的活動の促進を図っていきます。
44	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術5	コミュニティづくりも大切。美園では、まちづくりに向けたワークショップなども実施されていたが、取組を通してコミュニティの形成やビジネスの創出にもつながる。	重点戦略2戦術5において、多彩なコミュニティづくりに取り組んでいきます。
45	4. その他	事業承継については、中小企業における重要な課題であり、民間企業である金融機関からの働きかけだけでは弱い部分もあるので、行政からの啓発などがあるとなおよい。	重点戦略2戦術2において、さいたま商工会議所とも連携を図りながら、事業承継の支援に取り組んでいきます。
46	4. その他	さいたま市の都市インフラについては、道路混雑がひどいことなどがボトルネックになっており、観光資源などがあってもそこまで達するのに時間を要したり、歩道も狭く歩行環境がよくないことなども問題。	重点戦略1戦術5、重点戦略2戦術3において、道路網の強化や良好な歩行環境の整備に取り組んでいきます。

項番	項目	意見	対応方針（案）
47	4. その他	法人市民税は増加しているのか。また、法人市民税法人税割額の納付義務を負う企業数が増えていることに対して、事業所数が減少していることの分析がほしい。	御意見を踏まえて分析し、今後の取組につなげていきます。
48	4. その他	人の集まるスポットとしては「大宮公園」も挙げられ、これを生かし切れていない。やはり県単独での魅力アップは難しいと考える。県の管理下にある公園のため難しいとは思いますが、可能であれば本市に関与してほしい。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
49	4. その他	将来の人口減はどうしても避けられない。新型コロナウイルス感染症をひとつの問題提起と捉え、魅力あるまちづくりに向け、計画に生かしていければよいと考える。	新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により、計画の改定などを適宜行っていきます。
50	4. その他	多数の戦術があるため、どこからどのように進めていくのか分かるとよい。	各戦術間で優先順位をつける考えではなく、重点戦略の考えに合致する事業を重点化していきます。
51	4. その他	新型コロナウイルス感染の状況も踏まえ、事業者とすると、有事における行政のバックアップのスピード感は重要であり、行政と金融機関がうまく連携できればよい。	御指摘のとおりであると考えており、現在も事業者への支援等にあたって金融機関と連携しており、今後も取組を進めていきます。
52	4. その他	重点戦略は総花的であるため、人口の自然増と社会増の両方に貢献するものを最優先で取り組むなどし、費用対効果を上げるとともに、対外的にも取組をわかりやすくアピールしていくべき。	各戦術間で優先順位をつける考えではなく、重点戦略の考えに合致する事業を重点化していきます。
53	4. その他	あえて市独自の取組をするのではなく、国内外の良いものを取り入れていくことも必要。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。

項番	項目	意見	対応方針（案）
54	4. その他	人手や税金の投入が大きいマラソン大会などは、費用対効果の効検証をしっかりとすべき。	戦略を推進する上での「評価・検証」の参考とさせていただきます。
55	4. その他	各戦術の記載内容はもっともであるが、今後、具体的な事業を紐づけて、KPIの目標値を設定する中で、いつまでに何をやるのか、明確にしていくべき。	戦略を推進する上での「評価・検証」の参考とさせていただきます。
56	4. その他	市町村合併により誕生した市ではあるが、地域の垣根を越えて、さいたま市全体として施策を打っていかないと、総合戦略の効果は十分に発揮されない。	今後の施策推進にあたって参考とさせていただきます。
57	4. その他	新型コロナウイルス感染症により、激変するだろう社会への展望をどのように立てるか、全く触れないのかどうか、ご検討になっていただければと思います。	新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により計画の改定などを適宜行っていきます。
58	4. その他	新型コロナウイルス感染症を踏まえた新しい生活に対応する記載はしないのでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により計画の改定などを適宜行っていきます。
59	4. その他	KPIについてですが、「・・・を感じている市民の割合」という項目が多く見受けられますが、人の感性は千差万別。あまりこの項目が多すぎると成果指標としての精度、納得感が薄くなってしまっているように感じます。	市民に対する満足度調査は、施策に対する市民の反応をダイレクトに測ることができる点がメリットである一方、御意見のようなデメリットもございます。 定量的な指標などと適切に組み合わせたりすることで、施策の成果を測ることは可能であると考えております。